



連合高知

<発行所> 連合高知 No.144
2023年10月16日

日本労働組合総連合会高知県連合会
<発行責任者>池澤研吉 <編集人>西村里佳子
〒780-0870 高知市本町4丁目1-32
こうち勤労センター内
TEL(088)824-5111
FAX(088)824-3002
www.rengo-kochi.jp



2023連合 平和行動 特集号

平和への絆を繋ごう

連合は、安心して暮らし、働くためには、「社会が平和で安定していること」が大前提として、平和運動や自然災害支援への取り組みを通じ、「絆づくり」を進めています。その中の一つが「平和4行動」です。今日の日本では、“あたりまえ”となっている「平和」。しかし、未だ戦争の爪痕に多くの人が苦しんでいます。

連合高知は、この平和4行動に参加し、平和であり続けることの大切さを訴え“平和への絆を繋いでいく”としています。今年新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことから、4年ぶりに全ての平和行動に現地参加することができましたので、参加者の皆さんからの報告をお届けします。

2023連合平和4行動

米軍基地を多く抱え過度な負担を強いられている沖縄。世界で唯一原爆投下され、後遺症に苦しむ広島・長崎。郷土を奪われ故郷を失った北方四島。連合は、この平和4行動を通して、次世代に平和の大切さ尊さを繋いでいます。

平和行動in広島 《2023.8.5~8.6》



2023平和行動in広島の日程
1日目…ピース・ウォーク
・平和ヒロシマ集会
連合・原爆死没者慰霊式
2日目…広島市原爆死没者慰
霊式並びに平和祈念式

平和行動in根室 《2023.9.9~9.10》



2023平和行動in根室の日程
1日目…北方四島学習
2日目…平和ノサップ集会

平和行動in長崎 《2023.8.8~8.9》



2023平和行動in長崎の日程
1日目…平和ナガサキ集会
2日目…ピース・ウォーク
原爆落下中心地公園、平和公園等
・万灯流し
※2日目に予定されていた「ピース・ウォーク」、「万灯流し」は、台風6号の影響により中止となった。

平和行動in沖縄 《2023.6.23~6.24》



2023平和行動in沖縄の日程
1日目…平和オキナワ集会
2日目…ピースフィールドワーク【Aコース(基地コース)】【Bコース(戦跡コース、嘉数高台・旧海軍司令部壕など)】【Cコース(戦跡コース、糸数アブチラガマ・ひめゆりの塔など)】

2023連合平和4行動《参加者報告》

平和行動in沖縄

《参加者》

連合高知：楠本(JP労組)、川嶋(運輸労連)、中川(電機連合)
青年・女性委員会：福富(自治労)、河村(西地協・自治労)
構成組織：山本(電機連合)
連合高知事務局：市川事務局長(引率)

《平和行動に参加して改めて考えたこと…》

平和行動に参加して改めて考えたことが、三つあります。一つ目は、戦争を次の世代にどう伝えていくのかということ。ピースフィールドワークでガイドをしていた連合沖縄青年部の方々の「沖縄戦のことを経験した人から直接話を聞けるのは自分たちの世代が最後」という言葉…。今まで何度か訪れた沖縄では、戦争被害者から話を聞く機会があったが、今回はその機会がなく、改めて“次代への継承”を強く感じました。デジタルアーカイブなどで証言を保存する活動もありますが、体験した人の思いは、画面を通すと少し伝わりづらいと思います。ただ、青年部の方々の「同じ若い世代の人には、同世代の自分たちがしっかり歴史を学び伝えていくことで、沖縄戦を通じて平和の大切さを伝えていきたい」と言われた言葉が印象的でした。

二つ目は、「平和な今を当たり前」と思っていないだろうかということ。

県民の4人に1人がなくなった沖縄戦では、6月23日の慰霊の日は県民の休日として、県内全体で沖縄戦の犠牲者を追悼し、戦争の記憶を継承しています。滞在中、拝見した地元紙は、ほぼ全面が沖縄戦や慰霊の日の特集。戦争の記憶が身近にあるからこそ、日常の平和の大切さを生活の一部として伝えているように感じました。しかし、78年前に戦争があったのは、高知も同じ。私たちはどこか戦争を過去のことのように感じ、「平和な今を当たり前」として「戦争は沖縄と広島と長崎で起こったこと」と受止めているのではないかと…？

三つ目は、今の沖縄にちゃんと向き合っているだろうかということ。知ろうとしていたのだろうか。フェンスを隔てたすぐ向こうに基地が広がる風景。日米地位協定に基づき日米軍は損害賠償責任を負わないため、その基地の周辺では、航空機の墜落事故をはじめさまざまなトラブルが生じている。にもかかわらず、基地とともに暮らすことを受け入れた暮らし（基地があるのは沖縄だけではなく）。青い空が広がる下、辺野古の海に土砂が投入されている景色を目にしたときに、沖縄で暮らす痛みを感じたような気がしました。今までメディアの情報で沖縄戦や基地問題について知ってはいたけど、理解できていなかったなど。だから何ができるのか、私自身もまだ答えが見つかりませんが、ちゃんと沖縄の現状に向き合いたいと思っています。

沖縄戦から78年。さまざまな技術が進む中、再び日本が戦争に巻き込まれたら、相手となる国も含めて多くの犠牲が生まれるはずだ。

美しい空と海が広がる沖縄。日本との交流以前にアジアや中国との交流があった沖縄は、軍事拠点ではなく、本来ならばアジアの国々との交流の拠点になればいいのにと思わずにはいられません。
高知市職労：福富真子

太平洋戦争の末期、沖縄に上陸した米軍との激しい地上戦で20数万人の命が奪われました。このような悲劇を二度と繰り返さないために、連合は6月23日の「沖縄慰霊の日」に「平和集会」を開催し、戦没者の霊を慰め、平和の尊さを心に刻み、平和の大切さを次代に繋いでいかなければなりません。



《始めて参加した平和行動》

今回、平和4行動へ参加させていただき初めての沖縄へ。目的である沖縄戦や基地問題は、マスコミ報道で見聞きする程度でほぼ知識はなく「基地の何が問題なのだろう？」という漠然としたものしかありませんでした。

平和行動1日目「平和オキナワ集会」では、連合沖縄女性委員会委員長 堀川恵氏の「沖縄からの平和アピール」を聞き、戦争がもたらした惨劇を強く心に刻み、悲劇を繰り返させない思いと、平和と不戦の誓いを新たにし今後も粘り強く運動を進めていくことが大切だと感じました。

2日目「ピースフィールドワーク」では、辺野古キャンプシュワブ⇒嘉手納飛行場⇒チビチリガマ⇒嘉数高台（普天間基地）のコースを回りました。沖縄は日本に返還された後も、在日米軍による事件・事故等により、住民の生命・人権・財産が脅かされ、犠牲になり続けています。米側優位の日米地位協定は一度も改定されることなく現在に至っています。抜本改定の要求をしても変わらない（変えられない）ことに対して、毅然とした態度を取らない日本政府の問題を考えさせられました。

また、辺野古キャンプシュワブの埋め立て問題は、未だ見つかっていない数多の遺骨がある中、南部地域の土砂を採取し埋め立てに使うという計画が進められていることです。戦争で犠牲になり、さらに基地のために埋め立てに使われる遺族の感情、43万票超えの「反対」の民意を無視し工事を強行する政府に対し怒りがこみ上げてきたと同時に、今まで深く考えることのなかった自分を反省しました。

今回、この平和行動に参加したことで、点でしか知らなかったことが線で繋がり、より広く深く考えられるきっかけになりました。ありがとうございました。

黒潮町職労：河村美智子

平和行動in広島

《参加者》

青年・女性委員会：西本(JAM)、川澤(日教組)
連合高知事務局：谷山東地協事務局長(引率)

《世界唯一の被爆国の願い》

今回、初めて平和行動に参加し、広島戦時中の様子や原爆の恐ろしさについて学習してきました。

78年前、広島に落とされた原爆は一瞬にして何十万人もの命を奪いました。平和記念資料館ではその当時の様子が展示されており、あまりにも残酷で悲惨な当時の広島を見て心が痛みました。

核兵器廃絶は日本人共有の願いで世界中の人々の願いであってほしいと強く感じます。どんな理由であれ「戦争はしない!」「核兵器を使用してはいけない!」という事を世界唯一の被爆国として強く訴え続けていかなければいけません。

今回の平和行動では、初めて知るそれぞれの場所で、戦争の悲惨さや平和に対する思いを知り、平和な世界の実現のために、自分たちがたくさんの人に伝えていく事が最も大事であると感じました。僕自身も、今回の平和行動に参加して感じたことや知った事を、周りに伝えていきたいと思っています。

太陽労組：西本治生

1945年8月6日、原子爆弾が広島に投下され14万人の尊い命が奪われました。今もなお多くの被爆者が放射線障害に苦しんでいます。人類で初めて原爆が投下された広島。私たちは、悲劇が二度と繰り返されないよう訴え続けなければなりません。

《次世代の子どもたちと共に》

修学旅行の引率で広島を訪れたことはありましたが、今回、修学旅行では味わえなかった貴重な経験をさせていただきました。

特に、平和集会での平和大使や外交官の方の話が印象的でした。平和大使が、次世代のために平和にむけた活動をしていること、世界の国々には、私の知らないさまざまな考え方があること等、多くのことを学ぶとともに、「大人である私たちが全国のなかまとともに頑張らないといけない」「学校現場でも、次世代を担う子どもたちと平和や戦争について学び、考え、行動していこう」と感じました。

日教組：川澤綾乃



広島につづき8月9日、長崎にも原爆が投下され、1万4千人が息絶え、1万5千人余が傷つきました。この原爆の投下は、人類史上において2回目、かつ現時点では実践で使用された最後の核兵器です。私たちは、世界中で二度とこのような惨事が繰り返されないよう、その実相を語り継がなければなりません。

平和行動in長崎

《参加者》

連合高知：田村(日教組)、青年・女性委員会：小林(自治労)
連合高知事務局：西村副事務局長(引率)

《被爆の実相に触れ感じたこと》

台風6号の接近に伴い、平和記念式典への参加が叶わなくなるなど、大幅な予定変更を強いられた「平和行動in長崎」だったが、その中でも連合主催の「平和ナガサキ集会」への列席や台風の合間に平和公園、原爆落下中心地公園、原爆資料館を訪れることが出来た。

78年前、1945年8月9日11時2分に起こった、目を覆い耳を塞ぎたくないような原爆の非人道性や被爆の実相に触れ、悲しみや怒りでもなく、なんとも言えない感情になった。被爆者の苦しみや無念さは容易に想像し得ないだろう。

私たちの生活は、「平和」の上に成り立っており、いつしか「平和」を当たり前のように感じていた。『長崎を最後の被爆地に』『私たちは微力だけど、無力ではない』という被爆者や長崎の人々の想いを胸に、核兵器廃絶や非戦、恒久平和の実現へ歩みをすすめるべきではないかと強く感じた研修であった。

高知医療センター労組：小林誠治

《平和について語りたい》

参加した「平和ナガサキ集会」では、被爆者の力強い言葉から、戦争を嫌い、核を嫌い、同じ過ちを繰り返してはならないという思いを強烈に感じた。核兵器は今もなお作られており、さらに2021年に発効されたTPNW(核兵器禁止条約)に反発する核所有国の存在を知った。「核のタブー」の後退化から、世界がまた悲惨な渦に巻き込まれる可能性があることを知り、恐怖した。集会の中で「人間が生存していけるかどうかは人間の心にある」という言葉に深く共感した。

8月9日は、その願いが込められている日だと、長崎へ行って感じた。そして、11時2分に、世界中の人々が黙祷を捧げ、平和を願う日であってほしいと心から思った。

そして、私は、勤務している小学校に通う、可愛くて純粋な子どもたちに平和について語りたかった。

日教組：田村慎

平和行動in根室

《参加者》

連合高知：森田(自治労)、西地協：上岡(自治労)
連合高知事務局：丸山副事務局長(引率)、宮本西地協事務局長
十万東地協事務局長

《2023平和行動in根室に参加して》

北海道根室高等学校北方領土根室研究会の講演を聞き、会長の「ロシア人とともに暮らしていきたい」という言葉がとても印象に残った。北方領土の返還が、すべての日本人の目標であると思い込んでいたからだ。1945年ロシアによる四島占領後、島では2年間ほど日本人とロシア人が一緒に暮らしていた時期があるのだという。映画「ジョバンニの島」の、両国の子どもたちが徐々に仲良くなり、突然日本人が島を追われることにより、友達や家族と引き離される描写は、胸が痛み、理不尽さを感じずにはいられなかった。その理不尽な思いを、島でともに暮らしたロシア人も感じているであろうと…。相手に心を寄せることができることはすごいことだと思うと同時に、しっかり北方四島の問題について学んでいるからこそそう思えるのであろうとも思った。最後に会長から、「問題について学び、広めてほしい」と要望があった。正しい知識を身につける重要性を改めて実感した。

宿毛市職労：上岡葵

北方領土は日本固有の領土ですが、第二次世界大戦終結後に旧ソビエト軍によって不法占拠され、領民は故郷を追われ、墓参りさえ自由にできない状態が今日まで続いています。領土返還と日ロ平和条約の締結なくして真の平和はありません。



《平和行動in根室、北方四島の平和を求めて》

9月9日～9月10日、平和行動in根室に参加しました。組合活動で県外へ赴くのは初めてのことでしたが、貴重な体験だったと実感しています。一日目には根室高等学校北方領土根室研究会のこれまでの取り組みについての講義を聴講しました。各県への出前講座や署名活動、ロシアとの交流など様々な活動をしているとのことでした。その後は映画『ジョバンニの島』が上映されました。北方四島における実話がもとにされており、島での生活やソ連軍の進駐などの物語を学びました。二日目には本土最東端の納沙布岬にて平和ノサップ集會が開催されました。地元や元島民の方からの強い意志や訴えに全国の各連合が耳を傾けていました。強い思いを皆感じていたことと思います。今回の平和行動を通して全国の各連合が持ち帰り、少しでも多くの方に北方四島について学んでもらい、現状を理解してもらうこと。そうやって早期対応に繋げていけたらと思います。

須崎市職労：森田海充



10月8日から最低賃金がアップすることは知っていますか？

「最低賃金よりも低いかも？」
「おかしいな？」と思ったら、なんでも労働相談ホットラインへ



自分の賃金
今すぐチェックを！



高知県は 897円

この金額を
下回る時は
違法オニオン！



連合高知 Facebook 検索



Facebookでも様々な情報発信をしています！
是非、ご覧ください。